

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 匂い物質感受性の変化や個人差の解明
2. 研究代表者： 大黒 亜美（広島大学 大学院医系科学研究科 特定准教授）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、香害として問題となっている、身のまわりの香水や柔軟剤などの匂い物質に反応して現れる不快感において、それらが生じるメカニズムや、匂い物質の感受性の個人差、体調により感受性が変化する原因を明らかにすることを目的としている。

フェーズ1ではマウスを用いた実験により、匂い物質が脳内に移行することを示し、さらに代謝物が行動変容を引き起こすことを明らかにした上でその代謝に関わる代謝酵素の検討も進めており、研究は良好に進捗している。フェーズ2の研究計画においては、フェーズ1で得られた知見を発展させ、さらにヒトへの応用を目標としている。ヒトでの解析は遺伝的背景や生活習慣、持病などの多様性の問題で困難な挑戦ではあるが、研究の発展を期待したい。

以上